

平成27年度第2回学校協議会

日時：平成27年10月20日（火） 15：30～

場所：佐工会館（同窓会館）1階

1. 開会の挨拶
 2. 校長挨拶
 3. 近況報告（教頭より）
 4. 佐野工科地域コンソーシアムの進捗状況（校長より）
 5. 事務局報告
- ①「学校経営計画及び学校評価」の進捗状況（校長より）

②各分掌の進捗状況

1. 教務部（教務部長より）
2. 生活指導部（生活指導部長より）
3. 進路指導部（進路指導部長より）
4. 全体協議

○インターンシップにどれくらい日数、参加していますか？

Ans. 主に2日間で、3日間の企業も少しあります。

○資格取得者数を昨年の2回目の協議会の資料と比べると少ないようですが、目標達成できますか？

Ans. 集計の時期の問題で昨年度より早く集計しております。目標達成は大丈夫だと思います。

○クラブ加入率50%を超えた理由は、また運動部の加入率が増加した理由は？

Ans. 分からないが、自転車部のように高価な自転車を購入しなければならないクラブもあるが、そうまでして一生懸命取り組もうという生徒が増えている。

○クラブは最低一つは入るように指導をしているのか、そうではなく希望者だけ入部するのか（自由加入）？

Ans. 自由加入です。1年生については4月に体験入部期間を設け興味のあるクラブに接することにより気に入ったクラブへの入部を促している。

○クラブの単位認定は今はないのですか？

Ans. 今はありません。また、長時間勤務や安全配慮義務など先生方に啓発を行い、十分注意して指導するように指示をしている。

○中学校では保護者のニーズが多様化している。例えば体育会系のクラブ員を呼び捨てにしないで「さん」付けで呼ぶようになど。最近の高校ではどうですか？

Ans. 大半の保護者は厳しい指導を望んでいるが、保護者の考え方は多岐にわたっているというのが正直なところです。クラブ費を含む会計報告の指示を職員にしている。

○産業創造系に学科改編して半年になりますますが何か工夫をしていますか？

Ans. 1年生はまだ系・専科に分かれていません。3Dプリンタは1年生の工業技術基礎で使っている。また、系専科に分かれる来年、再来年にむけて教員研修を行っているところである。来年から創造性教育ができるものと思っている。

○産業創造系の定員は何人ですか？

Ans. テキスタイルデザイン専科、製品開発専科それぞれ40名です。テキスタイルデザイン専科は現在のテキスタイル系の流れをくみながら新しい創造教育を行っていく。製品開発専科は3Dプリンタを主に使い電気系や機械系の基礎的なものを含め、製品開発をするためにどうすればよいかを学んでいく。

○基礎力診断テストの結果で数学のできる生徒が集まっているように思われますがどうですか？

Ans. 結果から判断すると、中学校での指導は工科高校へは数学ができる生徒をとられる。